

保育者養成機関における音楽教育についての一考察

－子どもの歌創作のヒント－

奈良文化女子短期大学 幼児教育学科 伏見 強

I. はじめに

幼児は一般に音楽にかかわる活動が好きで、友達と遊びながら、即興的な唱え歌や替え歌を歌ったり、音楽に合わせて身体を動かしたり、ときには友達と一緒に踊ったりする。¹⁾ また、教師と一緒に美しい音楽を聴いたり、友達と共に歌ったり、簡単な楽器を演奏したりすることも、幼児のさまざまな音楽にかかわる活動を豊かにしていくものである。²⁾

一方、教師は子どもが「音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう」³⁾ ことを願って教育実践に邁進するものの、幼児教育が多岐に亘ることから教材研究が進みにくい現実もある。

我々は、言葉を喋り、文字を介して文章を創作し、自らの言葉でコミュニケーションを図っている。他方、様々な音楽活動をとおして音楽に親しみ、言葉では表現できない抽象的な情感を表現もしくは享受しているが、多くは他人の作品を介したものだ。

そこで、本稿では幼稚園教育要領でいうところの『感性と表現に関する領域「表現」』の目標達成の視点に立ち、幼児教育に資する新しい音楽教材作りのための楽曲分析を試みた。

II. 目的と方法

本研究のねらいは、現存するオーソドックスな教材に学びつつ、新しい子どもの歌創造の奨励と推進の糸口を提示することにある。そのために幼児教育で用いられている音楽教材を音楽の要素別に分析し、その特徴を把握することとした。

対象とした曲は、幼稚園・保育園（所）で多用されている曲という以外の曲目選定の基準は特に定めず、幼児音楽の教材の中からアト・ランダムに抽出した。

まず、対象曲目の(1)「出典」を明記し、(2)「調」と、関連する(3)「和音」、歌うときに問題になる(4)「音域（最低音・最高音・その音程）」を確認した。もう一つの音楽構成の柱を成す(5)「拍子」とリズムについても調べ、楽曲の個性を端的に示す(6)「動機部分のリズム」をサンプルとした。さらに、(7)「形式」と「小節数」、(8)「テンポ」、(9)「作曲者」、の各項目についても比較・検討することとする。(表1)

また、(10)筆者の作品4曲も掲載し、対象曲40曲（延べ64例）と対比させた。(表2)

使用テキストは、①「幼児のうたとあそびの曲」⁴⁾、②「弾きながらコードネームが学べるやさしいピアノ伴奏法」⁵⁾、③「[音楽表現]の理論と実際」⁶⁾、④「たのしい歌あそび」⁷⁾、⑤「あそび歌

うた遊び」⁸⁾、⑥「こどものうたピアノ伴奏集ベスト100」⁹⁾、⑦文部科学省検定済教科書「新編あたらしいおんがく1」¹⁰⁾、⑧文部科学省検定済教科書「小学生のおんがく1」¹¹⁾、⑨文部科学省検定済教科書「小学音楽おんがくのおくりもの1」¹²⁾の9冊である。また、筆者の作品を資料として、4～7ページに掲載した。

Ⅲ. 資料

(1) 楽曲の構成(a)、および(b)

表1 楽曲の構成(a)

曲名	出典	調	和音	最低音	最高音	音域	拍子	動機のリズム	形式	小節数	テンポ	作曲者等
1 赤いとり小とり	①③	F dur	イ	f ¹	d ²	長6度	四分の二	か	*小三部	6		成田為三
2 あくしゅでこんにちは	⑤	D dur	ア	d ¹	h ¹	長6度	四分の二	い	小三部	12	108	渡辺 茂
3 あめふりくまの子	①⑦	D dur	ウ	h	d ²	短10度	四分の二	え	小三部	12	112 92~100	湯山 昭
	⑥	C dur		a	c ²							
4 ありさんのおはなし	①	F dur	ア	c ¹	d ²	長9度	四分の三	う	二部	16		渡辺 茂
5 一年生になったら	②	F dur	イ	c ¹	d ²	長9度	四分の四	え	小三部	12		山本直純
	⑥		ウ									
6 いとまきまき	③	G dur	ア	d ¹	d ²	完全8度	四分の二	か	小三部	12	80	デンマーク曲
	⑤	F dur		c ¹	c ²							
7 大きなくりの木のしたで	④⑦	C dur	イ	c ¹	c ²	完全8度	四分の二	う	二部	16	112 104~112	不詳
8 おかあさん	①	D dur	ウ	d ¹	d ²	完全8度	四分の四	き	一部	8	92	中田喜直
9 おつかいありさん	①	D dur	ウ	d ¹	d ²	完全8度	四分の二	え	小三部	12		団 伊玖磨
10 おぼけなんてないさ	①	G dur	ウ	d ¹	d ²	完全8度	四分の四	く	*二部	8	Allegretto 104	峰 陽
	⑥	F dur		c ¹	c ²							
11 お花がわらった	①⑦	F dur	ウ	c ¹	c ²	完全8度	四分の二	え	小三部	12	84~88 72~80	湯山 昭
12 おはよう	②	C dur	イ	c ¹	c ²	完全8度	四分の二	え	小三部	12		本田鉄磨
13 かえるの合唱	①	C dur	ア	c ¹	a ¹	長6度	四分の二	う	一部	8	76	ドイツ民謡
14 かっこう	③	F dur	ア	f ¹	c ²	完全5度	四分の三	あ	小三部	12		ドイツ曲
15 かねが鳴る	②	F dur	ア	c ¹	d ²	長9度	四分の四	あ	一部	8		フランス曲
16 気のいいあひる	③	G dur	ア	fis ¹	e ²	短7度	四分の三	う	二部	16		ボヘミア曲
17 こいのぼり	①	C dur	イ	c ¹	c ²	完全8度	四分の三	う	二部	16		えほん唱歌
	⑥		ウ									小出浩平
18 小ぎつね	④	C dur	イ	c ¹	c ²	完全8度	四分の二	い	二部	14	104~112	ドイツ民謡
19 こどりのうた	①	D dur	ウ	d ¹	d ²	完全8度	四分の四	え	*一部	7	104	芥川也寸志
	④	C dur		c ¹	c ²							
20 ごんべえさんの赤ちゃん	④	G dur	イ	h	h ¹	完全8度	四分の四	え	一部	8	112	アメリカ曲
	⑥	B dur	ウ	d ¹	d ²							アメリカ民謡
	⑤											108
21 さよなら	③	C dur	ア	c ¹	g ¹	完全5度	四分の三	あ	小三部	12		ドイツ曲

22	しゃぼんだま	①	D dur	イ	d ¹	d ²	完全8度	四分の二	か	小三部	12	72	中山晋平
23	せんせいとおともだち	①	C dur	イ	h	c ²	短9度	四分の四	え	一部	8	126	越部信義
		⑥										い	
24	たなばたさま	①	G dur	イ	d ¹	d ²	完全8度	四分の二	あ	二部	16	126	下総皖一
		⑥	F dur	ウ	c ¹	c ²							
25	たんぼぼ	①	D dur	ウ	d ¹	d ²	完全8度	四分の二	う	三部	24		大中寅二
26	ちゅうりっぷ	①③	F dur	イ	f ¹	d ²	長6度	四分の二	う	小三部	12	92	井上武士
27	ちょうちょう	①	F dur	ア	f ¹	c ²	完全5度	四分の二	う	二部	16	84	ドイツ曲
28	手をたたきましょう	④⑧	C dur	イ	c ¹	c ²	完全8度	四分の四	う	二部	16	138 112~120	中田喜直
29	とけいのうた	①	D dur	ウ	d ¹	d ²	完全8度	四分の四	い	小三部	12	Moderato	村上太郎
30	どんぐりころころ	①⑥	C dur	イ	c ¹	c ²	完全8度	四分の二	か	*二部	8	60	梁田 貞
31	とんぼのめがね	①	C dur	ウ	c ¹	c ²	完全8度	四分の二	い	小三部	12	112	平井康三郎
		⑥										96	
32	花・鳩・ピアノ	①	D dur	ア	d ¹	e ²	長9度	四分の三	お	二部	16		外国曲
33	ふしぎなポケット	④	G dur	ア	d ¹	d ²	完全8度	四分の二	い	一部	8	112	渡辺 茂
34	ぶらんこ	①	F dur	イ	f ¹	d ²	長6度	四分の二	い	一部	8	92	えほん唱歌
35	ぶらんこ毛虫	①	D dur	イ	d ¹	h ¹	長6度	四分の二	う	小三部	12	112	小川 正
		②	F dur		f ¹	d ²							
36	ぶんぶんぶん	①⑦	F dur	ア	f ¹	c ²	完全5度	四分の二	あ	小三部	12	⑦108~116	ボヘミア曲
		⑧⑨										⑧96~104	
		③										C dur	
37	まねっこあそび	④	G dur	ア	d ¹	d ²	完全8度	八分の六	け	小三部	12	92	外国曲
38	むすんでひらいて	②	C dur	ア	c ¹	a ¹	長6度	四分の二	う	二部	16		ルソー
39	やまごやいっけん	③	G dur	ア	d ¹	c ²	短7度	四分の二	う	一部	8		アメリカ曲
40	山の音楽家	④⑦	F dur	イ	c ¹	c ²	完全8度	四分の二	※え	二部	14	92 92~100	ドイツ民謡
計		64	48	44	48	48	40	40	41	40	40	38	40

註1 「ア」はT-D（属七を含む）-Tを、「イ」はT-S-D-T又はT-D-S-Tを、「ウ」はその上に副三和音などを伴うものを示す。

註2 最低音及び最高音を示す音名はドイツ音高表示による。

註3 「あ」は四分音符のみ又は二分音符を含む、「い」は八分音符のみ、「う」は八分音符と四分音符や二分音符との混合、

「え」はスキップのリズムを含む、「お」は付点四分音符を含む、「か」は八分音符と十六分音符の混合、「き」はシンコペーションを含む、

「く」は三連符を含む、「け」はその他を、それぞれ示す。

註4 ※印はアウフタクトの曲、*印は例外的要素を有するものである。

註5 小節数は歌の部分のみをカウントし、前奏・間奏・後奏は除く。

註6 Moderatoは104~112の枠で、Allegrettoは116以上として、それぞれカウントした。

表2 楽曲の構成(b)

	曲名	出典	調	和音	最低音	最高音	音域	拍子	動機のリズム	形式	小節数	テンポ	作曲者等
1	あのお山の向こうに	本稿 に 掲載	C dur	ウ	h	c ²	短9度	四分の四	き	二部	16		伏見 強
2	こだま		B dur	ウ	b	d ²	長10度	四分の四	あ	三部	24		
3	春のお庭はいいにおい		C dur	ウ	a	h ¹	長9度	八分の六	け	*三部	20		
4	ピョンピョン音頭		C dur	イ	g	c ²	完全11度	四分の四	え	小三部	12		

(2) 作品

「あのお山の向こうに」

「こだま」

「春のお庭はいいにおい」

「ピョンピョン音頭」

あのお山の向うに

作詞/山田邦子、作曲/伏見 強

The musical score is written on a single treble clef staff in C major, 4/4 time. It consists of four lines of music, each with a key signature change indicated above the staff. The lyrics are written below the notes.

Chorus (Line 1):
Chords: C, F, C, G7, C
Lyrics: あのおやまのむこうに なにがあるのしょう
あのおやまのむこうに なにがあるのしょう

Verse 1 (Line 2):
Chords: C, Am7, Dm, C, G7, C
Lyrics: きょうもおひさま かおだして おはようおはよう
きょうもおひさま おわかれね きよならさよなら

Verse 2 (Line 3):
Chords: F, G, C, C
Lyrics: ぼくたちもめをさまします あのをまのむこうには
ぼくたちもかえーりーます あのをまのむこうには

Verse 3 (Line 4):
Chords: F, C, C, G7, C
Lyrics: ピカピカひかる おひさまのおうちがあるのしょう
しずかにやすむ おひさまのおうちがあるのしょう

こだま

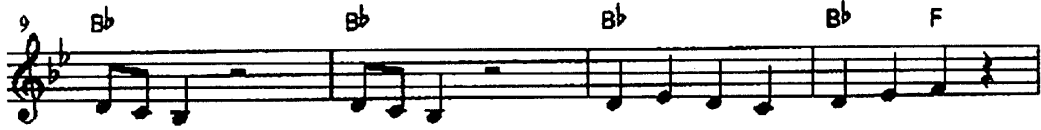
作詞/山田邦子、作曲/伏見 強



ヤッホー ヤッホー だれなの だれなの



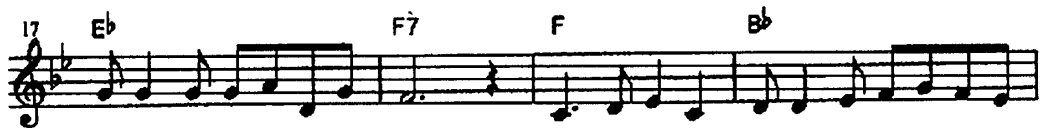
おいでー おいでー あそぼう あそぼう



はやくー はやくー あなたは こだま



きたぞー きたぞー いつまでも いつまでも



ともだちでいよう たのしい やまのあなたの



こだまさん ヤッホー ヤッホー

春のお庭はいいにおい

作詞/山田邦子、作曲/伏見 強

C G Am E

はるのにおにわはーいたいのにおいうー
なつきのおのにやまははーいたうしのしそいうー
あきゆののおにまわははーうされししそ
ふののおにまわははーうされししそ

5 C F G G7 C

すみれーた んぼ ぼー れんげ そ うー
ひまわりさく んル ビ アー あさん が おり ー
かまのみく んり そ のう み が さん ぐて き もて ー
こまきのしこぞ のう が さん ぐて き もて ー

9 F G C F E7

ちよーう ちよ が と んで き て こ んに ち はー
あさ が お の ラ ッ パー の で お き に だ し はー
みーん ば の の く ー り の を ま と き だ し ま ー
はーん な の の ひ こ ー き ー ば し ま す ー

13 F G C Dm C G

みん な で ワ ル ツ を お ど り ま すー
みん ん な で が わ っ そ う た の し し ま すー
こ は な は わ し ら っ て だ の し り そ ま すー
お は な は わ し ら っ て だ の し り そ ま すー

17 F C G G7 C

ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラ ラン ラン ラン
ドン パッ パ ドン パッ パ ド ン パッ パ パー
コロ コロ コロ コロ コロ コロ コ ロロン ロン
ヒユル ヒユルヒユル ヒユル ヒユルヒユル ヒユ ルヒユル リン リン

ピョンピョン音頭

作詞/山田郭子、作曲/伏見 強



ピョン ととん で ピョン ととん で ピョン ピョン ピョン
 ピョン ととん で ピョン ととん で ピョン ピョン ピョン
 ピョン ととん で ピョン ととん で ピョン ピョン ピョン



う さぎ の とう さん ピョン ピョン ピョン
 か える の とう さん ピョン ピョン ピョン
 う さぎ と かえ るが ピョン ピョン ピョン



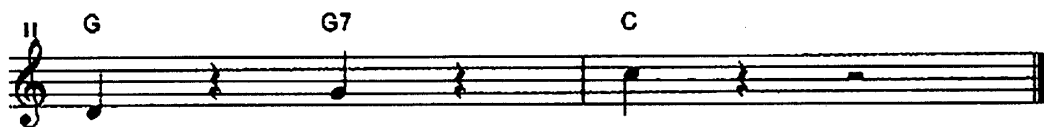
う さぎ の か あさん ピョン ピョン ピョン
 か える の か あさん ピョン ピョン ピョン
 と うさん も か あさん も ピョン ピョン ピョン



こ ども も そ ろ っ て ピョン ピョン ピョン
 こ ども も そ ろ っ て ピョン ピョン ピョン
 こ ども も み ん な で ピョン ピョン ピョン



ソ レ み ん な で み ん な で
 ソ レ み ん な で み わ に なっ て



ピョン ピョン ピョン
 ピョン ピョン ピョン
 ピョン ピョン ピョン

IV. 結果

(1) 出典

テキスト①より23曲、②より5曲、③より8曲、④より8曲、⑤より3曲、⑥より9曲、⑦より5曲、⑧より2曲、⑨より1曲を対照した。曲数は全40曲、延べ64例である。

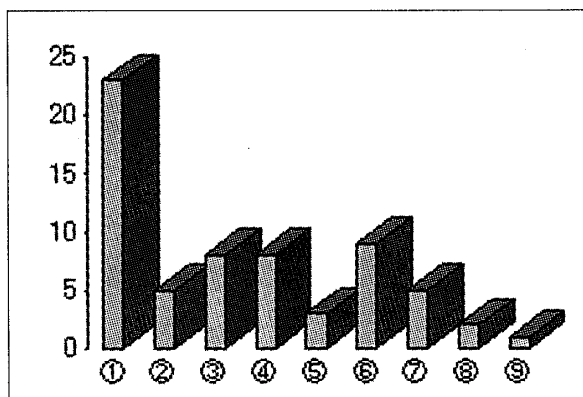


図1 出典

なお、テキスト①は本学幼児教育学科の教科書として作られた。

(2) 音階と調

すべてが長音階であり、短音階やその他の音階の曲は1曲もなかった。

さらに、C dur、F dur、B dur、G dur、D durの5調のどれかに属し、C durとb系、#系が拮抗するものの、b系ではF durが圧倒的に多く、B durは1曲のみであった。

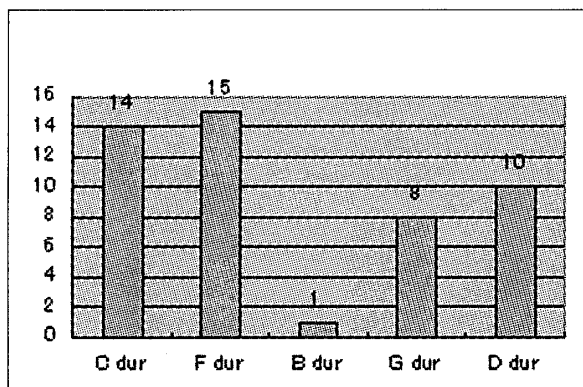


図2 調

また、その他の調の曲はなかった。

(3) 和音

和音進行もシンプルなカデンツ¹³⁾(終止形)が多い。図3の「ア」のようにT (Tonic) - D (Dominant) (属七を含む) - Tの連結から成るものと、それにS (Subdominant)を加えた「イ」のT-S-D-T、またはT-D-S-Tのコード進行を合わせると67%に上る。

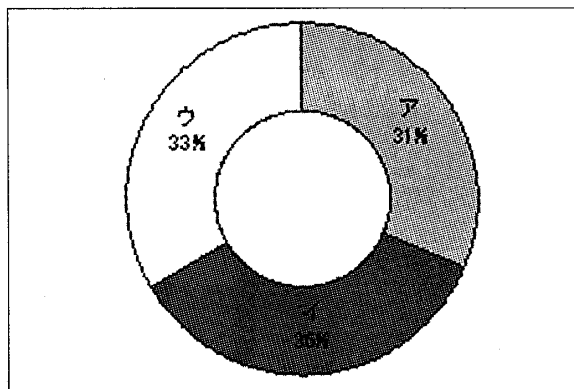


図3 コード進行

ウは、上記の主三和音に副三和音¹⁴⁾(Ⅱ・Ⅲ・Ⅵ・Ⅶの和音)等を伴って豊かな表現を可能にしたものであるが、33%に過ぎなかった。

(4) 音域(最低音・最高音・その音程)

図4に示すように、低音はc¹(中音のド)が42%と最も多く、d¹(同レ)の33%と合わせると75%を占め、3番目のf¹(同ファ)を加えると9割を数える。

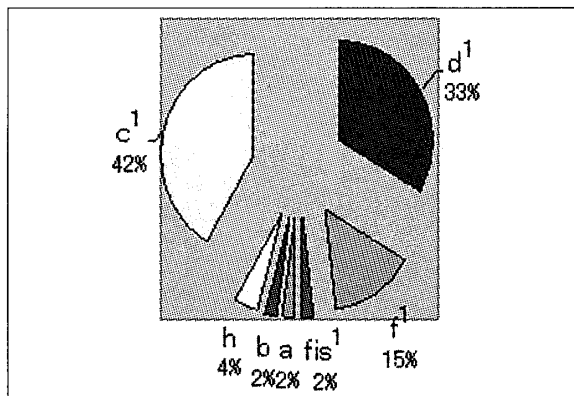


図4 音域(1)最低音

一方、最高音は図5のように、1オクターブ上の c^2 が40%、 d^2 が42%でこの2音だけで82%を占め、その他の g^1 、 a^1 、 h^1 や e^2 は例外的に存在した。

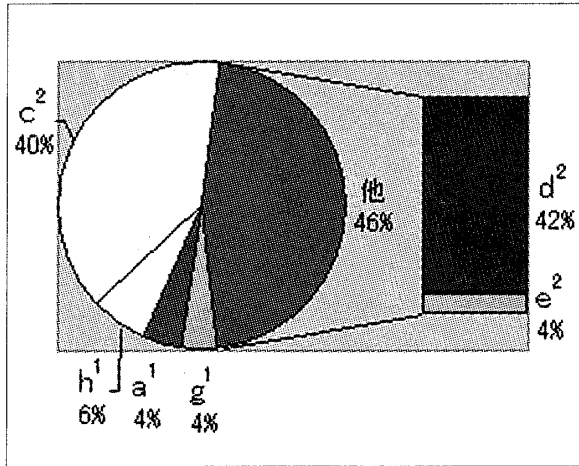


図5 音域(2)最高音

これらの最高音と最低音によってできる音程の中では、完全8度が最も多く52%もあった。

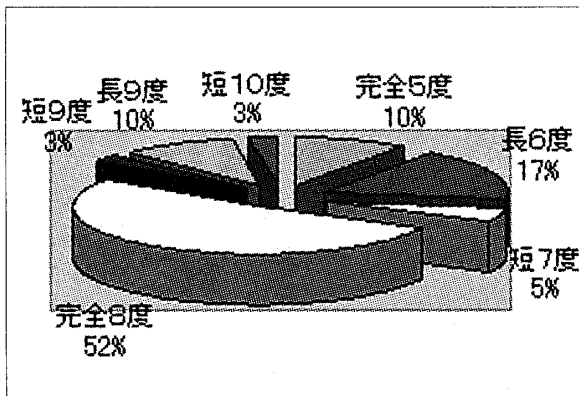


図6 音域(3)最高音と最低音との音程

また、完全5度が10%、長6度が17%もあり、短7度も含めて1オクターブ以内の音程でできている曲は84%を占めている。

一方、9度以上の幅広い音程の曲は、短10度を上限に16%あった。

(5) 拍子

圧倒的に四分の二拍子が多く、40曲中24曲(60%)を占める。次に四分の四拍子が9曲(23%)、そして四分の三拍子が6曲と続くが、八分の六拍子はわずか1曲のみで、その他の拍子は

存在しなかった。

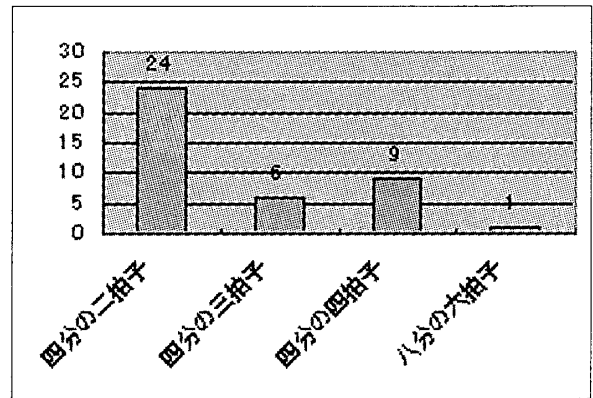


図7 拍子

(6) 動機部分のリズム

表1の欄外に記した註3に従って「あ」～「け」の9パターンに分類した。

調査曲中、四分音符と八分音符を中心にした楽曲「あ～う」が24曲(58%)を占め、幼児音楽の特色にも数えられるスキップのリズムを含む曲も9曲(22%)に上る。

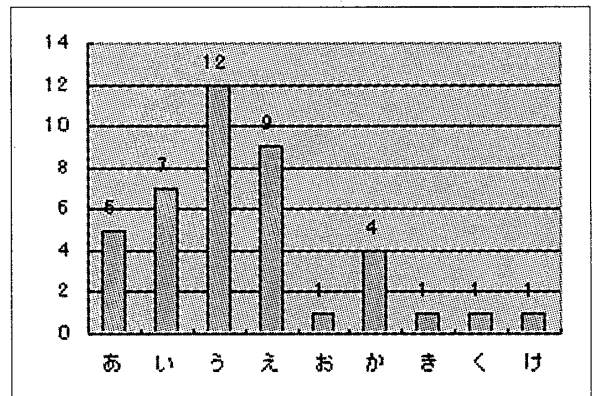


図8 動機部分のリズム

(7) 形式と小節数

楽曲は2小節を最小単位として動機部分を形成し、2個の動機によって小楽節を形成する。2個の小楽節でできた楽曲を一部形式、3個の小楽節では小三部形式という。さらに2個の一部形式で二部形式が、3個では三部形式が形成される。¹⁵⁾

図9に示すように、小三部形式の曲が42%と最も多く、二部形式の曲(32%)、一部形式の曲(23%)の順に続くが、三部形式の曲は3%しかなかった。

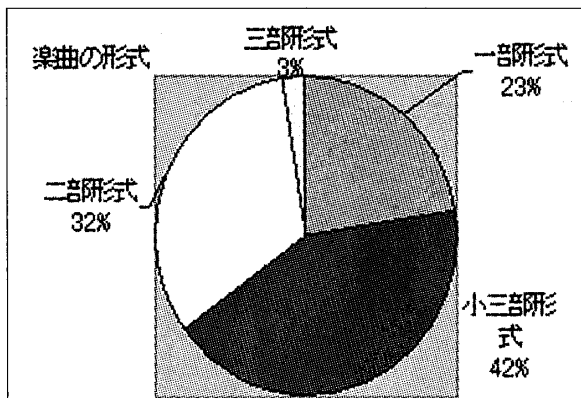


図9 形式

小節数でも、12小節でできている曲が最も多く、次に多い8小節以下のものを合わせると69%にも上り、形式と小節数とが密接に関連し、比例することが判る。

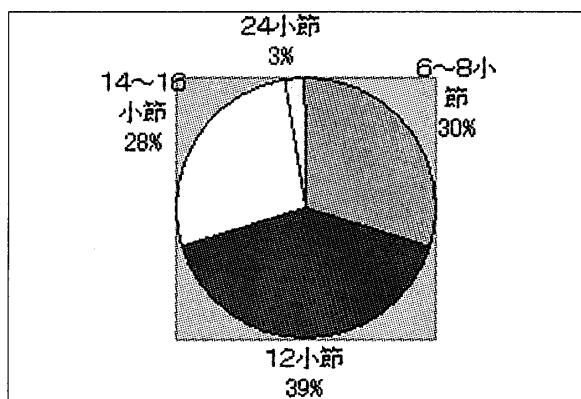


図10 小節数

(8) テンポ

テンポが記されていたのは38例で、残りの26例については記載がない。

メルツェル・メトロノーム記号で76~96

(10) 筆者の作品

ここに掲載した4曲は、2003年7月29日に開催された奈良文化女子短期大学第36回幼児教育講座での講演のために書き下ろしたものである。

(Andante) または104~112 (Moderato) と指定された曲が16例ずつであり、これらを合わせた中庸もしくは、少しゆっくり目の速度表記が50%を占める。

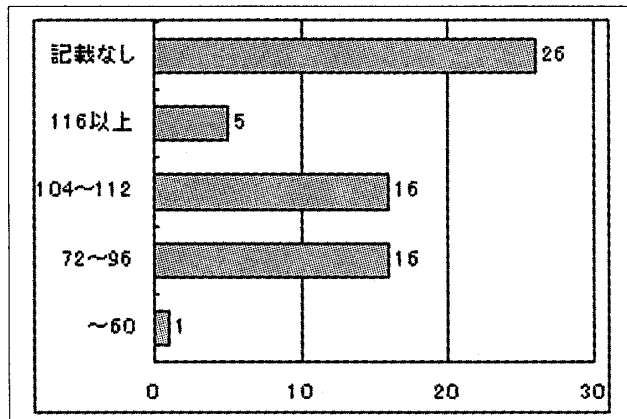


図11 テンポ

(9) 作曲者

調査した曲の中では、我が国の洋楽の黎明期に輸入された「ぶんぶんぶん」や「ちょうちょう」など、古くから歌い継がれてきたものが、今なお32%も生命を保っていた。

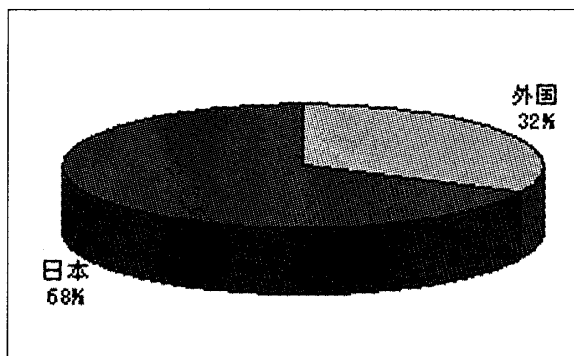


図12 作曲者

邦人作曲家では、湯山昭や中田喜直、団伊玖磨、芥川也寸志、成田為三、中山晋平、下総皖一、大中寅二、梁田貞、平井康三郎らも名を連ねている。

V. 考察

(1)この種の調査研究は、対象となり得る曲が多種多様にわたり、且つ無尽蔵とも考えられることから、量的な根拠の判断はつけ難い。幼児を対象としている曲と言っても、「子ども自らが音楽する」ことを主眼においた楽曲から、大人の感覚で「子どもの心情」を歌ったものまで様々であるが、ここでは前者の曲を中心に採り上げた。曲目や曲数に課題を残しているものの、一応、妥当な結論が得られたものと考えており、少なくともここで検討した各項目の概要は、新曲創作の指針となり得るものと確信する。

(2)調については、楽しく遊ぶことがねらいの幼児音楽に相応しいのは、やはり長調の曲であり、短調の曲に出会うことは稀である。ピアノ奏法の観点からいっても、調号(b・#)が少ない方が、弾きやすいという指導者側の事情も垣間見えるが、b系におけるF durとB durの差に関する要因については、今回の調査では言及できない。

(3)コード進行を観ると、T-D-TやT-S-D-Tのカデンツからなるものが7割近くに上ることからも分かるように、主要三和音のみで作曲されていることが多い。これに副三和音が少し加われば豊かな内容の音楽表現が実現する。

(4)発声器官に無理なく歌唱する為には、楽曲の音域が課題である。そこで、楽曲の最低音および最高音、さらにそれらが成す音程について、調査した。その結果、中音域の1オクターブ以内に留めるのが無難であることが分かる。そして、そのことは調の決定にも影響を与えている。

(5)日本人あるいは日本語のリズムの特徴と符合して、二拍子や四拍子の曲が多い。逆に三拍子が少ないことや三拍子の曲としては外国曲が多いことも、日本の童謡の特徴と言えよう。

(6)今回の調査において、多種多様なリズムパターンをどのように整理するかが一つの課題であった。動機部分のリズムに限定することで、この作業は一気に捗ることになり、同時に、簡潔に分類することが可能になった。

(7)形式と小節数は密接な関係にあり、スタンダードな一部形式は8小節、小三部形式12小節、二部形式は16小節、三部形式は24小節できている。小三部形式にもかかわらず6小節できている「赤いとり小とり」や、7小節で一部形式を成す「ことりのうた」などは、詞と音楽とが成し得た傑作として特筆に値する。

(8)テンポについては、Moderato(中ぐらいの速さで)ないしはAndante(ゆっくり歩くような速さで)が多用され、記載のなかった26曲についても、概ねこの範囲に入るものと考えられることから、116以上の早い速度の曲や極端に遅い曲は、童謡には馴染まないことが推察された。

(9)童謡のジャンルにおいても、湯山昭、中田喜直、団伊玖磨、芥川也寸志らの現代日本を代表する作曲家や、成田為三、中山晋平、下総皖一、大中寅二、梁田貞、平井康三郎ら、日本歌曲の草分け的存在の作曲家が牽引してきたことがうかがえる。

我が国の洋楽の黎明期に取り入れられた「ぶんぶんぶん」や「ちょうちょう」などの古くから歌い継がれてきた曲が、未だに生命を保っているのも驚きであり、その要因の一つに歌詞の名訳¹⁶⁾が挙げられよう。

(10)新しい童謡として2年前に筆者が作曲したものであるが、今回の研究結果に当てはめると、コード進行や曲の長さなどにおいて、例外的な範囲に入る。自らの作品に対してのコメントは差し控えたいが、共

感できる詩との出会いが作曲の原動力になったことを留めたい。

VI. おわりに

幼稚園や保育園（所）での造形表現の教材として、教師の手作り作品が多用される。それに比して音楽表現では既成の作品（曲）を利用している場合がほとんどであろう。

作曲を難しいと考える人が大勢いて、クリエイティブな芸術としてこれを捉えれば躊躇することも頷ける。一方、子どもは所謂「遊びのクリエイター」で、「わらべうた」に代表される「遊びの歌」などをみると、個性的で汎用性に富み発展の可能性を感じさせるものも少なくない。ここでいう「わらべ歌」は過去から受け継がれてきた伝承的なもののみを指すのではなく、子どもの遊びの中から自然発生的に生まれ、ほとんど意識されることなく消えていく運命にある「唱え歌」や「替え歌」なども含まれているのだが。

作曲を意味する英語のcomposeには、組み立てる・組成する・組織する・詩や絵画・彫刻を構想する、などの意味も併せ持つ。新しい子どもの歌創造のcompose推奨に繋がることを願って本稿を執筆したが、ここで検討した分析を踏まえれば、手紙を書いたり、造形作品を創ったりすることと同様に、音楽の創作も容易にcomposeできるのではないかと考えられる。作曲（音楽の創造）がもっと身近に行われるようになり、オリジナリティを有した幼児音楽用の教材作りに本研究が役立てば幸いである。

なお、詩の持つイメージやそのキャパシティによって、歌（楽曲）の性格やスケールなども決定されることから、詩と音楽との関連性についても今後の研究テーマとしたい。

謝辞 ここに掲載した筆者の作品は、すべて本学山田郭子先生の作詩によるものであり、この詩からインスピレーションを得て、短時間の内に作曲することができた。本紀要に掲載するに当たり、ここに改めて厚くお礼申し上げ、感謝と敬意を表する次第である。

- 1) 文部科学省：幼稚園教育要領解説、フレーベル館、東京、129、2003
- 2) 文部科学省：幼稚園教育要領解説、フレーベル館、東京、130、2003
- 3) 文部科学省：幼稚園教育要領解説、フレーベル館、東京、129、2003
- 4) 奈良文化女子短期大学編：幼児のうたとあそびの曲、奈良文化女子短期大学
- 5) 桶谷弘美・熊谷新次郎・斉藤正義・末吉加代子・杉江正美・高橋悦枝編著：弾きながらコードネームが学べるやさしいピアノ伴奏法、音楽之友社、東京、1998
- 6) 桶谷弘美・吉良武志・熊谷新次郎・斉藤正義・杉江正美・高橋悦枝共著：[音楽表現]の理論と実際、音楽之友社、東京、1997
- 7) 音楽之友社編：たのしい歌あそび、音楽之友社、東京、1982
- 8) 奥村美恵子・田中英夫編著：あそび歌うた遊び、音楽之友社、東京、1997
- 9) 音楽教育研究会編：こどものうたピアノ伴奏集ベスト1000、民衆社、東京、2004
- 10) 湯山昭他：新編あたらしいおんがく1、東京書籍、東京、2005
- 11) 畑中良輔他：小学生のおんがく1、教育芸術社、東京、2005
- 12) 三善晃他：小学音楽おんがくのおくりもの1、教育出版、東京、2005
- 13) 竹内剛・岩間稔編：伴奏づけ、ヤマハ音楽振興会、東京、13~20、40~44、1990
- 14) 山縣茂太郎：音楽通論、音楽之友社、東京、176~209、1967
- 15) 山縣茂太郎：音楽通論、音楽之友社、東京、221~242、1967
- 16) 伏見強：保育士養成機関における音楽教育についての一考察、奈良文化女子短期大学紀要第35号、11~12、2004